

第5回遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会 議事概要

1. 日時

令和4年4月11日（月）13:30～15:15

2. 場所

遊佐町役場 議場

3. 出席者（敬称略）

遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会

遊佐町商工会：阿部 副会長

NPO法人遊佐鳥海観光協会：佐藤 理事長

一般社団法人酒田青年会議所：久木原 直前理事長

株式会社きらやか銀行 遊佐支店：鈴木 支店長

株式会社山形銀行 酒田支店：吉田 支店長

東北公益文科大学：温井 教授

遊佐パーキングエリアタウン調査特別委員会：高橋 委員長

遊佐町総合交流促進施設株式会社：池田 代表取締役

オブザーバー

国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所 調査第二課：田村 課長

国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所 調査第二課：横山 専門官

酒田港風力発電事業者協議会：高橋 社長室長（代理出席）

庄内総合支庁 建設部 道路計画課：松永 道路企画専門員

庄内総合支庁 建設部 道路計画課：成田 道路企画主査（代理出席）

事務局

企画課 PAT 整備推進室：渡会 課長兼室長

地域生活課：伊藤 土木係長（代理出席）

産業課：池田 産業創造係長（代理出席）

企画課 PAT 整備推進室：池田 係長

企画課 PAT 整備推進室：伊藤 主事

パシフィックコンサルタンツ株式会社（PCKK）：桂田、鳴海

4. 議事

■議事概要

- (1) 道の駅 鳥海 移転整備事業に関するアンケート結果 中間報告 【資料2】
 - ・中間報告として、サウンディングアンケート調査結果より、主に施設計画に関する内容を説明した。アンケート結果を受けて、今後ヒアリングへ移行することを報告した。
- (2) 今後の対応方針 【資料3】
 - ・新道の駅の運営事業者のあり方について議論した。
 - ・現道の駅運営事業者である三セクの重要性を認識し、三セクなど地元企業が主体的に事業を行うことができるパターンが望ましいという意見や、新たな民間事業者の積極的な関与を求めるべきという意見が得られた。
 - ・今後、ヒアリング等を踏まえて事務局内で方針を整理し、次回の推進委員会へ報告することとした。

■議事内容

1. 開会

2. 挨拶

温井委員長より挨拶

3. 前回の振り返り【資料1】

4. 協議事項

(1) 道の駅 鳥海 移転整備事業に関するアンケート結果 中間報告 【資料2】

～道の駅 鳥海 移転整備事業に関するアンケート結果 中間報告【資料2】について説明～

推進委員会 委員

- ・アンケート内容は多岐にわたっていたが、質問・ご意見等あればいただきたい。あくまでもアンケートであるため、記載されている内容をそのまま実行するというわけではない。

PCKK

- ・アンケートの次のフェーズとして、今回の事業に関心のある企業に対してヒアリングを実施する予定である。その際に聞いておくべきこと等があればご教示いただきたい。

(2) 今後の対応方針 【資料3】

～今後の対応方針【資料3】について説明～

推進委員会 委員

- ・米沢道の駅の事例等とも比較しながらわかりやすく整理したい。

PCKK

- ・道の駅米沢の特徴としては、殆どが加工品の販売であり、産直については小さなスペースとなっていること、特産品販売所と直売所を一体の売り場とすることで拡張性を持たせていることである。バックヤードについては、70 m²だが、建物裏にプレハブなどが見られることから、手狭なのではと考察される。飲食スペースについては、フードコート・ファストフード・高級レストランがある。道の駅大谷海岸の特徴としては、地物の野菜売り場はそれほど大きくないが、鮮魚販売のためのいけすがあることである。それによって売り場の4割程度を地物の販売に使っている。バックヤードは70 m²程度だが、運営者からはもう少し広くてもよかったとの声が聞かれている。フードコートは手狭で、屋外空間や展望テラスで食事をする客も多い。

推進委員会 委員

- ・上記の説明を踏まえて、アンケート結果と参考資料を見比べて議論を進めていきたい。この面積の設定が、今後予定される設計条件となる。皆様のご意見を踏まえて決めていきたい。ワーキングでは、バックヤードの大きさだけでなく、位置関係についてのご意見もあった。現状も踏まえて、各機能とバックヤードがどのような関係になっているか、使い勝手はどうか、という部分を考えながら計画を詰めていきたい。

PCKK

- ・アンケート調査の中でも、フードコートは流行から外れるのではとのご意見をいただいている。コロナウイルスの影響で、地域の観光や現地で時間をゆっくり過ごしたいという需要が増えているのではないかとのご意見もあり、ヒアリングで深堀していきたいと考えている。フードコートの代わりにフードホールという考え方や、ヨーロッパの公園に面したバルのようなイメージという意見もワーキングで得られている。

推進委員会 委員

- ・ただのフードコートでは、おしゃれでないのかなという印象もある。それぞれの店主がこだわりの料理を提供するなどした方が魅力的なのではと思う。
- ・参考資料3に配置図があるが、将来的な見直しや拡張まで見越したレイアウト検討が

必要ではないか。

推進委員会 委員

- ・道の駅米沢には何度か訪れたことがあるが、フードコートは食堂から囲まれ、落ち着かない印象であった。また、農産物直売所の売り場面積も小さかった。道の駅ふらっとの良い点は、駐車場からストレートにアクセスできる入口がいくつもあるということである。
- ・屋内のオープンスペースも重要だと感じる。冬場のイベント開催等で使えるスペースを確保した方がいいと思う。

推進委員会 委員

- ・多目的広場の使い方については、設計者任せではなく、ある程度考えを提示する必要がある。

～事業手法・事業の進め方について（案）について説明～

推進委員会 委員

- ・事業スキームについて、慣れ親しんだパターンは③だが、川場田園プラザやららん藤岡等はどのようなパターンとなっているのか、また、全国的にどのようなパターンで運営がうまくいっているのかを確認したい。

推進委員会 委員

- ・県内 1 の集客実績を踏まえて、第3セクターを抜きにした全く新しい形での運営というのは考えづらいことから、新しい事業者との関係性として4パターンを整理している。群馬県川場村の川場田園プラザは、地元の人が修行に行く、自前で育てる等の取り組みが見られる。遊佐の場合も同様に、全国規模の運営者に任せるのではなく、地元で育てる方がいいのではと感じる。地元の人がコンセプトを作らないとダメなのではと思う一方、新たな自由な発想を出すことができるか、という点で不安が残る。運営について、ご意見いただきたい。

推進委員会 委員

- ・公募運営事業者は、大手というより地元精通している、町内又は庄内地域の事業者がベストなのではと思う。第3セクターの意見も気になるが、基本は③が妥当なのかなと思う。

推進委員会 委員

- ・③が無難かなと思う。お互いにやりやすいのではと思う。

推進委員会 委員

- ・役割分担の記載があるが、既存機能と付加価値部分がある。施設・設備に対して意見のすり合わせをする時間を確保できるのか懸念がある。スケジュール感を確認したい。

PCKK

- ・令和8年度末以降の開業から逆算し、設計が約2年（令和5年度・6年度）予定している。令和5年度の基本設計の中で運営者からの意見を反映し、まとめ切ることが必要である。時間が足りるか足りないかは提案内容にもよるが、間に合う内容の提案としたい。

推進委員会 委員

- ・ワーキングでは、地域振興策の部署と駅長が新しいアイデアや発想の部分でリードしていくのでは、という意見も得られた。

推進委員会 委員

- ・現状、第3セクターでは道の駅の運営について今後どのように考えているか、ご教示いただきたい。

推進委員会 委員

- ・現状、第3セクターでは、細かく分けると12施設を指定管理している。意見としては②が良いと考えている。②はリスクもあるが、基本計画策定の段階から、「民間・広域・鳥海山・道の駅」にはこだわりたいと考えていた。リスクを冒しながらも、民間事業者から積極的に参入いただきたい。そのためには、手を上げやすいように条件整理を進めていきたい。第3セクターの役割を必要最低限にして、民間に幅広く役割を持たせる形とすることで、事業者が参入しやすくなると考えている。

推進委員会 委員

- ・民間事業者として参入したい事業とは具体的にどのようなものなのか、ヒアリングでイメージを固めていければと思う。

推進委員会 委員

- ・整備方法について、国・県との一体型か、町の単独型か、どのようにお考えか。

事務局

- ・国・県と引き続き協議を進めたいと考えている。

5. その他

事務局

- ・今後のスケジュールについて、ヒアリング調査の結果を踏まえ、事業手法の議論を5月末頃に委員会で実施、最終委員会を6月末頃に予定したい。

6. 閉会

— 以上 —